

町長施政方針

平成 22 年 3 月町議会定例会における町長の施政方針を要約してお知らせします。



周防大島町長 榎木 巧

私が町長に就任いたしましたから、早くも 1 年余りが経過いたしました。この間の一日一日は、誠に充実した日々であり、私に課せられました使命と責任の大きさを痛感し、諸課題に取り組んだ一年でありました。

就任当初から、百年に一度と言われる世界的な厳しい経済状況に見舞われ、さらには昨年、政権交代という過去に経験したことのない大きな時代の転換期を迎えました。

そうした厳しい状況の中で財政の健全化を第一に掲げ、生活関連施設の整備や子育て支援の充実、交流人口の増大を目指した滞在型・体験型観光に取り組み、「合併してよかったと実感できる町づくり」を念頭に、施策を推進してまいりました。

平成 22 年度に向けましても、「安心して幸せに暮らせる町づくり」のさらなる推進のため、引き続き粉骨砕身努力してまいる所存であります。

それでは新年度に向けての、私の所信の一端を述べご理解を賜りたいと思います。

① 行財政改革の積極的な推進

第 1 には「行財政改革の積極的な推進」であります。

政府が掲げる地域主権は、地方分権を越えてまさに国の形を変えるほどの一大改革でありますことから、さらなる行政改革を進め、財政の健全化を進めなければなりません。民間委託を進めての行政コストの削減、サービスの質的向上、地域の雇用の拡大を図ってまいります。行政改革により生み出された財源と、経済対策臨時交付金などを活用し、生活関連施設の整備や子育て支援等を充実させていきます。

② 賑わいの創出

第 2 には、「賑わいの創出」であります。

私は交流人口 100 万人を目標に掲げて、種々の政策を推進しております。大規模改修が完了したスポーツ施設の一層の活用を図り、体験型修学旅行の促進や、スポーツ合宿の誘致による、「賑わいの創出」を、大いに促進してまいりますと考えております。また、来秋にはいよいよ国体、アーチェリー大会の本番を迎え、本年 6 月にはリハーサル大会として、高校総体

中国地区アーチェリー予選会を開催いたします。

③ 安全安心の一層の強化

第 3 は、「安全安心の一層の強化、取り組み」であります。

自治防災組織や関係機関との連携と自助、共助、公助のそれぞれの役割の徹底をきめ細やかに進めていき、さらなる災害対策を図っていききたいと思います。

④ 新たな農業・漁業へ挑戦

第 4 には、1 次、2 次、3 次産業（生産、加工、流通、販売）の連携など「新たな農業・漁業へ挑戦」であります。

農業、漁業と町の固有の財産である豊かな自然や文化などとの連携を密にし、滞在型、体験型観光を進め、観光交流人口年間 100 万人を目指し、これらを引き爆剤に産業の振興を図ってまいります。

昨年度 3 校の体験交流学习を受け入れましたが、生徒の皆さんは大島での体験に大変感動しており、学校からも高い評価をいただいております。